

平面から立体へ、なんでも手を動かして作ってみよう。 ロボット工作で子どもたちの知的好奇心を育みます!

企画・制作 / 中日新聞広告局

「ブロックや紙で立体工作するのが大好きな息子は、今はロボットの組み立てに夢中。自分で表現する力、自分で創り上げる力、なんでも自分で作ってみようという知的好奇心をのびやかに育てるロボット工作で、子どもたちに夢のある未来を託しています」と原田さとみさん。家族や友達のように通じ合える人間型ロボットが一家に一台、なんて日が来るのかも? ロボットとの未来に子どもも親も興味津々。今回はそんな「ロボット」のお話です。



子どものモノづくり好奇心を応援! 「ロボベース」主催の子どもロボット教室へ

10歳の息子曰く「ロボットダンスって言葉はもう通じなくなるね」ギョギョとロボットの直線直線な動きを真似たダンス...もうそのイメージは過去のこととなるのでしょうか。近年では、より人間に近い動きを目標にした人間型ロボット「ヒューマノイドロボット」と進化しているようです。そんな最新のロボットにふれられるロボット専門店が名古屋市中区大須にあり、中部地区の「ロボベース」(※1)さん。ホビーロボットから各種パーツ、ロボットグッズが揃い、専門知識技術のあるスタッフさんがなんでも教えてくれる。子ども向けロボット工作教室や出張ロボトスクール、週末には店内でロボットパフォーマンスも披露され、子どものモノづくり好奇心を応援しているお店です。



Activity report
01
ロボベース



株式会社グローボックス 代表取締役社長 後藤 大介さん

2007年に産業用ロボットのスペシャリスト集団である株式会社グローボックスを設立。2009年6月には、東海地区で唯一のホビーロボット店であるロボベースを名古屋市中区大須にオープン。積極的な事業展開を続けている。

世の中にあるモノって、誰かが必ず作っている、何からどうやって作ったのかな?と考えるの、

が届きます。手間をかけて自分で丁寧に組み立て、パソコンで動かします。自分だけのロボットです。子どもたちの知的好奇心を育てます。親は子のために、あれもこれもと便利なものを買ってしまいがち。でも、モノは最小限で十分、与えすぎは禁物で、本当に必要



ロボットクリエイター 高橋 智隆さん

ロボットクリエイターとしてロボットの技術開発から設計・デザイン・製作・発表までを一貫して行う。2003年にはロボ・ガレージを創業。京都大学学内入居ベンチャー第一号となる。代表作に「クローン」「FT」、共同開発ロボットに「エボルタ」など



要なことは、モノづくりをするチャンスを与えてあげること。子どもの時代に大切なことは、自分で考えて自分の手で作ってみるという可能性を大いに育んであげたいもの。そして「なんでも作れる」という達成感をどんどん積み重ねてあげたいと思います。

まるで家族か友達のように、けな気でもかわいい未来型ロボット

先日、「ロボベース」主催の「ヒューマニクスサイエンスロボット教室」桑名教室の開校記念講演会が桑名市で開催され、「ロボベース」ファンのわが家は家族で行って来ました! 講演会では、「ロボベース」の顧問であるロボットクリエイター・高橋智隆氏と「ロボベース」後藤大介社長との対談が行われ、途中、単三電池2本でグランドキニオンの断崖絶壁をロープで登った話題のロボット「エボルタ」くんが登場し綱を登ってくれたり、俊敏ロボット「ロビッド」くんが跳んだり走ったりを披露してくれ、子どもも大人も大喜びの一幕も。高橋氏といえば、他にも、スムーズな二足歩行を可能にしたシン・ウオーク(膝が曲がったままであった歩行姿勢の問題を解決した新技術)や、スタイル抜群、スリムなボディでしなやかにモデルウオークする女性型ロボットなど、最新技術に加えてデザインのかわいらしさ、動作のいじらしさ溢れる魅力的なキャラクターを創り上げ、血や感情が通っているかのようなソフトな存在で、まるで家族か友達のように話しかけて思いやり通じ合う!まさに理想のヒューマノイドロボットを世に生み出しています。もししたら、イメージはアトムのような存在?なのかも。けな気でもかわいいよね。



狂言ロボットくんの誕生です! 伝統と未来の融合ー只今お稽古中ー! さて、そんな子どもたちの大好きなロボットで面白い企画をしましたよ。ロボットに日本の伝統芸能である狂言の動きをプログラムして、狂言を舞うロボット君を製作中。「ロボベース」と和流狂言方四世・野村小三郎師のご協力、7月17日に開催の親子で狂言を楽しむ「まいまい狂言会」にて、狂言師親子・小三郎師と9歳の信朗君と、ロボットくんととの夢のコラボが実現します。格式高い名古屋能楽堂の舞台で初披露! 現在、「ロボベース」のロボットエンジニア田頭さんが、小三郎師の動きを細かくロボットにプログラムしています。狂

言の研ぎ澄まされた無駄のない直線的な所作や、膝をまげてすり足で動く所作が、ロボットにどこか似ている。ってピンときた私がこの企画の言いだしっぺ。「腰から下は動かないで上半身だけ動かして」など、人間にとっては難しい動きもロボットには可能。ロボットは余計な動きをしないから、最高の弟子になれるかも! 只今最後のお稽古中! 7月17日の本番には私も司会でお手伝いしています。ロボットくんの登場でさらに楽しい親子狂言会となりますよ。多くの親子の皆さんに観に来ていただきたいです。お待ちしています。ぜひお越しください!

第3回 まいまい狂言会

1. 狂言 演目「井杭」
2. 狂言ロボットくん初舞台 狂言であそぼ!

司会: 原田さとみ

日時: 7月17日(土) 10:00開場 10:30開演
場所: 名古屋能楽堂
料金: 大人2500円、小人1000円(3歳以上) チケット発売中

問い合わせ: まいまい狂言会 TEL 080-1618-9713
FAX 052-350-7972
URL: <http://sites.google.com/site/maimaiyougen/>

原田さとみ (タレント/エシカル・コーディネーター)

環境負荷をかけず、人道的で、持続可能な地球にも人にも優しい「エシカル・ファッション」のコーディネーターや、途上国の貧困撲滅を目指す「フェアトレード」の普及活動、JICA中部なごや地球ひろばサポーターとして、親子向けの読み聞かせイベント「世界と出会う絵本ひろば」を主宰するなど、多方面で活躍中。さらに、じゃらからのおいしい水に感謝して「コップなごや水資金」<http://cupnagoya.org> を設立。レストラン・カフェで出される無料のお水に対して寄付をしていただく水基金です。基金は木曾川流域支援、山間部と都市部の人・コトモノの交流に使われます。

● エシカル・ベネロープ主宰 ● フェアトレードタウンなごや推進委員会 世話人
● まいまい狂言会 ● コップなごや水資金 世話人 <http://cupnagoya.org>
● 世界と出会う絵本ひろば「ルプブ」主宰 ● JICA中部なごや地球ひろばサポーター

主な活動 毎月第4土曜日午後2時 「世界と出会う絵本ひろば」は、JICA中部なごや地球ひろばにて開催!

原田さとみブログ <http://satomiharada.com>

(※1)ロボベース...中部地区のロボット専門店「ROBO BASE(ロボベース)」。<http://www.robo-base.com>
名古屋市中区大須3-30-86 第1アメ横ビル1F
TEL・FAX 052-263-1677 営業時間10:00~20:00/年中無休